

ドナウ通信

こ
挨拶

在ハンガリー大使

関 栄次

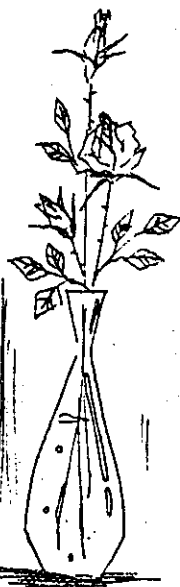
新年早々中東で戦争が始まり、今年も大変波乱に富んだ年になりそうですが、激動する国際環境の中で私どもは新たな判断と行動を求められています。従来の方え方に捉われてばかりいたのでは早晚日本の進路は行き詰まってしまい、国家の繁栄を確保しつつ国際社会で指導的立場に立つことは望めなくなるでありましょう。平和を確保するためにどのように責任を果たすかという大きな問題について国論が分かれ、現在の重大な局面に機敏に対処できない状況には深い憂慮を禁じ得ません。私も海外にいる日本人は選挙を通じ国政に自分の意見を反映させることは残念ながらできませんが、祖国の現状を将来について真剣に考えるべきではないでしょうか。

ハンガリーは自由民主国家として生まれ変わり、昨年は四十余年ぶりに行われた自由選挙によって新政権が誕生し、今経済再建に全力を傾けています。ハンガリー経済は、自由市場原理の導入、コメコン貿易の崩壊、中東戦争の影響などにより、今年から来年にかけてはドン底といわれていますが、私は

ろいろな状況から判断して、この難局を旨く乗り切れば必ず明るい展望が開けてくるものと信じます。

ところで、ハンガリーは日本の戦後復興と発展に範を求めると共に、とくにわが国からの資金と技術面での協力に大変に期待しています。申すまでもなく、このようなハンガリーを支援し、経済貿易ばかりでなく文化その他あらゆる分野で両国の関係を強化していくことは、結局世界の発展と平和に寄与しわが国自身の国益に合致することになります。この点で、最近力強い動きが随所に見られることは大変喜ばしいことですが、私ども一人一人がそれぞれの立場で今後とも努力して、今年を日本・ハンガリー関係の新たな飛躍の年にしたいと思います。

大変遅くなって恐縮ですが、皆様のご健康とご発展を祈り、これで新年のご挨拶とさせていただきます。



平成3年度

日本人会会長

江原 英治

ゲンツ・ハンガリー大統領が年頭のメッセージにおいて次のような一説を述べられています。

「我々は誤ってはならない。かつて我々がより公正な社会をもたらし、と信じたものは、救い様がないほどに崩壊してしまった。今、我々は存在の安全性や相対的な繁栄に対して代償を払わねばならず、それは高価なものとなる。引き返すことはできず、現在の状況から抜け出る道は、前進のみである。現在の問題を解決するためには世界の経済秩序に対応しなければならぬ。」

また、次の言葉もありました。

「建物を造っても家とはならない。家にするためには、建具や家具が必要であり、それは経済問題だ。さらに、家となったとしても、我々は小さな家

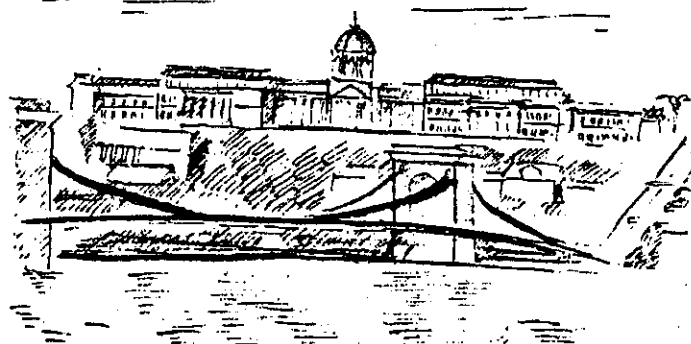
の中で平和共存することを学ばねばならない。」

正に新生ハンガリーの生みの苦しみに満ちた言葉だと思えます。今年も昨年以上に日本に対するハンガリーの期待感が高まるものと予想されます。

この変動期に当たって、ハンガリー日本人会も昨年一年間で急激に会員が増えており、今年も一段と加速するものと思われまます。それだけ、ハンガリーにおける日本社会の存在と責任も増大しつつあるということですが、私は、この歴史と文化に彩られた美しき国で、愛すべきハンガリーの人々と共に手を携え、より豊かで美しく、楽しい社会造りに少しでも貢献したいと念願するものであり、また、日本・ハンガリー両国の友好の橋渡しとしてハンガリー日本人会がさらに充実したものであることを祈るものであります。

僭越ながら、今年度の日本人会会長をお引き受けるに当たり、簡単な一般所見を述べさせて頂きましたが、基本的に諸先達のご指導を仰ぎながら、

新役員の皆様方と共々最善を尽くし、日本人会発展のために努力致す所存です。なにとぞよろしくお願い申し上げます。尚、このドナウ通信に関しましても、より一層の充実を計るべく考えておりますので、皆様方の積極的ご参加を希望しております。末筆になりましたが、会員の皆様の本年のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



人物往来

(敬称略)

〈大使館関係〉

帰国

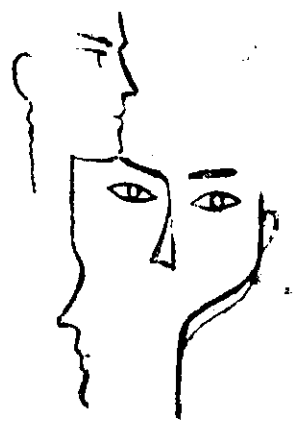
渡辺 伸 公使 12月3日離任

現在文部省大臣官房審議官
(ユネスコ国際担当)

着任

本田 均 公使 1月21日着任

渋谷 浩 11月着任



着任ご挨拶

本田 均 恵子

本年一月二十一日に着任いたしました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ハンガリーは現在幾多の困難な問題を抱えています。将来的には大変有望な国だと思います。日本との関係も今後益々拡大していくことが期待されます。

両国関係の発展のために微力ながら努力していききたいと思っております。

〈商工会関係〉

青木 浩文 カシオ計算機 9月着任

鈴木 孝史 三菱商事 "

久保居正通 伊藤忠商事 10月 "

塩川 典正 " 10月離任

秋山 卓男 日本長期信用銀行より

CIBへ 10月着任

森田 篤男 清水建設 "

岡田 茂 住友商事 12月 "

清川 光雄 大和証券より

DAIWA MKB LTD.へ 1月 "

加藤 力也 " "

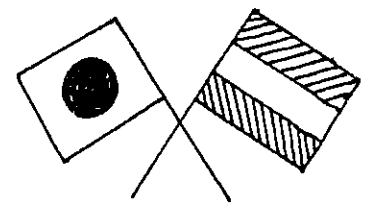
木股 隆三 古河電工より FURUKAWA

ELECTRICINSTITUTE OF TECHNOLOGY社へ 1月 "

松江 伸夫 住友商事 1月離任

藤島 高人 丸紅より FUJIFILM

HUNGARY LTD.社へ 着任



補習校だより

三学期に入って、四人の新入生を迎え、ただいま総勢二十八名のブダペスト日本人補習校であります。わが校の歴史上でも最大数に並び、小さいながらも活気に満ちた毎日を子供達は過ごしています。

お正月明けの最初の土曜日は、毎年日頃はとでもできない習字を「書き初め」として行っています。日本の小学校では、毛筆は三年生以上の教材なのですが、ここでは一年生から中学生まで全員毛筆を経験します。テーマも年頭にあふさわしいものを選び、お手本としました。やったことがないだけに、

やんちゃな彼等は墨や筆でふざけてしまふかな？ と、汚れても良い服装をさせたのですが、思ったよりも皆緊張

し、真剣な表情で書いていたのには、我々教師も感心させられました。これぞ「書道」。

この日はもう一つ、お正月の行事を体験しようとして「餅つき大会」も行いました。ハンガリー産の臼と杵で、保護者も参加してもらったの餅つきです。見たことはあっても、実際に試してみるのは始めてというお父さんや、「日本文化だ」と喜ぶ外国籍の保護者もいました。子供達はというと、餅は食べましたが、されど餅はつきたので、杵の順番の取り合い、餅をもらう列の並び合いに興々としていました。

数少ない行事の中で、子供達はいろいろなことを経験し、体得していきまふ。国際人として育とうとしている彼等に、日本的な物の良さを少しでも味わわせてあげたいと思っています。

児童・生徒数の状況

	小						計	中			計	合計
	1	2	3	4	5	6		1	2	3		
男	5	3	4	4	1	0	17	1	0	0	1	18
女	2	2	1	1	2	2	10	0	0	0	0	10
計	7	5	5	5	3	2	27	1	0	0	1	28

「ステキだったね クリスマス会」

寒かったものの、空も青く澄み渡った12月20日、昨年引き続き大使館主催のクリスマス会を公邸にて催していただきました。今年もハンガリー在住の日本人子女（中学生年時まで）すべてに招待状を送られたそうです。当日は、ハンガリーのイシュコラが、まだ休暇に入っていないこともあってか、ブダペスト市以外の遠方からは参加できなかった方もありました。

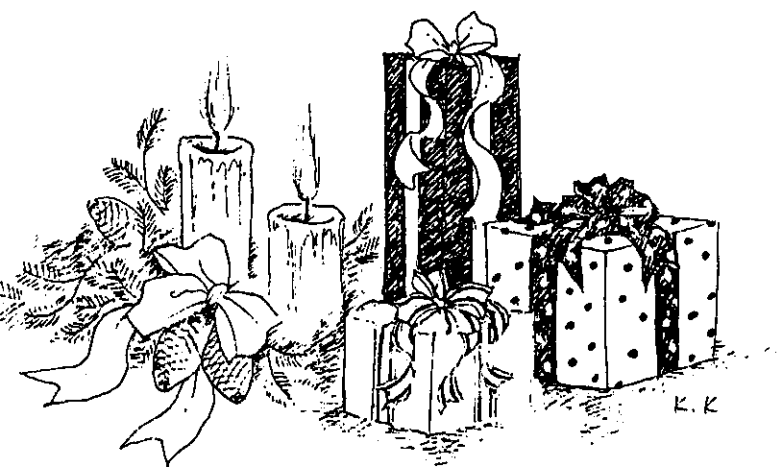
大使夫人のお優しい歓迎の言葉、そして「サンタさんから何でも好きな物がもらえるとしたら、どんな物が欲しい？」という問いに、「ドラエモンのポケット」や、「ドラエモン自身」などという夢のある答や、「ドレスが欲しい」というようなおしゃまな返事をする小さなレディーもいて、これではサンタさんも子供達の夢をかなえてあげるのが大変なのでは？と少々心配さ

せられました。

何と言っても素晴らしい出し物は、館員婦人の方の人形劇でした。アットホームな雰囲気、今年も「ヘンゼルとグレーテル」を見せて下さいました。もちろん、脚本・演出・人形造り・操作に至るまで全部が手製のもの。ハンガリーのどこの劇場に出演してもおかしくないくらいの腕前で、子供達だけでなく、大人まで感心させられました。

日本のお菓子や御馳走をいただいた後、サンタさん呼び寄せようと「きよしこの夜」と「あわてんぼうのサンタクロース」の大合唱。外の景色も夕暮れに沈み、クリスマスツリーが美しく浮かび上がるころ、待ちに待ったサンタのおじさんがやってきてくれました。「去年と同じサンタさんだ！」とはしゃぐ子供もいて、サンタさんも嬉しそうでした。

一人一人プレゼントを手渡ししてもらい、一緒に記念撮影。忙しいサンタさんはまた旅立って、子供達も大使夫人にお礼を述べて、楽しかったクリスマス会も終わりました。



ELTE

東欧諸国における自由化と民主化に伴い、長期・短期に亘ってハンガリーを訪れる日本人、また、ハンガリーから日本へ行く人の数も急激に増え、最近の日本・ハンガリー関係は政治経済の面、その他において著しいものがあります。一方各友好協会の活動を始め、ひいては剣道、柔道、空手など日本の伝統スポーツである武道の習練などスポーツや文化活動を通じて、より良く日本を知ろう、日本にハンガリーを知ってもらおうと言う動きも益々広範な層の人達の間にも広がっています。

その日・洪両国関係の発展にとり、基礎的な役割を担っているともいえる日本語教育、及び日本研究に携わっておりますハンガリーの主な大学、並びにその他の教育研究期間について、ドナウ通信に数回にわたってご紹介してきました。皆様のご参考にとり、

ハンガリーの代表的な教育機関としては、まずELTE (Eötvös Loránd Tudományegyetem エオトヴェシ・ローランド大学) が挙げられます。ELTEは日本などでは通称ブダペスト大学として知られている大学ですが、その創立は1635年に遡り、ヨーロッパでも有数の伝統を誇る大学の一つで、ハンガリーの教育、研究の中心機関として多くの人材を輩出してきました。

現在学部数は、文学部、法学部、理学部それに教員養成学部の4学部(学生数6000人、教職員数約1500人)からなっていますが、将来ELTEを中心としてブダペスト工業大学、ブダペスト経済大学の三大学を統合してブダペスト総合大学を作る構想も出ています。

さて、ハンガリーの日本語教育、日

本研究に於いてもELTEはその中心的な役割を果たしていますが、ELTE

Eでの日本語教育は1923年に文学部内に、日本でもかつて言語学者の間でその名の知られたブレオーレ・ヴィルモシュ教授の主宰による、東アジア言語・文学講座が設置されたときに始まり、1942年まで日本関係の教育も同教授の指導で行われました。その後1942年から1962年まで講座はモンゴル学の大家リゲティ・ラヨシュ教授に引き継がれることになりましたが、その間同講座は中国学の独立により内アジア科と中国、東アジア科に分かれ、日本語教育は1986年秋の日本専攻の創設まで、中国・東アジア科の自由選択科目として、ハンガリー人非常勤講師、及び日本人講師により行われました。過去の日本人講師としては、歴史家の羽仁五郎氏の息女協子氏も1959年から約9年間、音楽のコーディイ方式の研究の傍ら教鞭を執られたことがあります。

1985年、現学科主任ガッラ・エンデレ教授の指導の下で、長年各方面より要請されていた日本専攻設置の問題が具体化し、1986年/87年度より同学科内に日本専攻が開設され、今年で5年目を迎えました。

ELTE日本専攻は5年制で、その教育目的は、日本学として、日本の歴史、文学、言語、社会など、日本の文化、生活全般に亘って、学問的基礎の上に立ち、しかも実用的日本語能力を持つ専門家、研究者、及び日本語教師を養成することで、実際のカリキュラムもその基礎となる現代日本語の授業のほか古文、古典及び近・現代文学、日本事情、歴史、日本語学、日本の社会構造など、将来の日本研究者、教師としての基礎造りが主眼となつています。

ところで、こうした日本専攻開設・運営に当たり、日本からの数々の支援が大きな支えとなつてきました。例えば、国際交流基金の各種助成、中でも

図書及び教材・器材の寄贈プログラム並びに客員教授派遣プログラムは、ほとんどゼロから出発した草創期の日本専攻にとり、何物にも代え難い大きな支援でありました。また、京都寂光院の小松智光御門主による総額1千万円に達する器材及び基金のご寄贈は、現在の経済事情にあつて、日本専攻開設のため、誠に得難いご支援でありました。現在のところ、これらの日本からの支援が、日本専攻の運営を支えていると言つても過言ではないでしょう。

こうして出発した日本専攻では、教員、学生併せて、これらの支援にも応えるべく、目下その基礎造りに鋭意励んでいるわけですが、ハンガリー人教員3名ともかつての日本語コース出身者であること、内1名は、引き抜かれて、在東京ハンガリー大使館へ文化担当官として派遣されていること、学生3名が文部省の現役学生奨学生として厳しい試験に通り、1年間の日本留学中であること、また日本史の概説書と

日本語の教科書の出版が実現したことも、徐々にではありますが、これらのありがたいご支援が成果となつて現れ始めてきたものといえましょう。

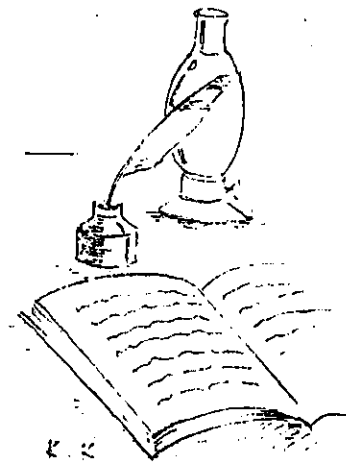
日本専攻の充実に対する期待は、日本との関係が深まるにつれ、ハンガリーでも当然のことながら大きなものがあります。最近ではゴンツ・アールパード大統領直々、ご自身が訪日の再プレゼントとして受けてこられた新潮社の古典文学全集82巻を、日本専攻充実のためにご寄贈くださるということがありました。

ゴンツ大統領は周知のごとく作家、翻訳家として有名ですが、大学で翻訳理論を講義されたこともあり、また日本文学に対する造詣も深く、英語からではあります。谷崎潤一郎の「瘋癲老人日記」や川端康成の「湖」、それに森鷗外の「雁」を翻訳出版されたことのある、大の親日家でもあります。

以上がELTE日本専攻の概略ですが、日本専攻は今年第1回の卒業生を

出すことになっており、卒業生たちの今後の活躍が大いに期待されるところですが、同時に日本の皆様方のさらなる温かいご支援を願いつつこの項を終ることに致します。

今回は外国貿易大学を予定していません。
(山地 記)



シリーズこんな話③
古城ホテルへのお誘い

近頃のブダペストはちょっとしたホテルの建設ラッシュですが、観光資源に恵まれ、この分野が大切な産業の一

つとなっているハンガリーではインフラストラクチャーの設備も早急な課題であるようです。その一環なのでしようが、今まで朽ち放題だった古いお城や貴族の大邸宅を改造してホテルにする試みがここ数年始まり、観光客の間でも静かな人気を呼んでいます。1、2日の小旅行にうってつけのいくつかを見にいってきました。

まず、ハンガリーの人達に最も慕われている歴史的な人物の一人、セーチエーニ・イシュトヴァーン侯の館がナジツェンクにあります。館の一部がホテルにされ、住んでいた部屋や礼拝堂は記念として保存されていて、当時の雰囲気味わうことができます。館の裏は広大な庭で、馬術場やプールも完備。場所としてもショプロンへ程近くまた十数キロ先のフェルトエードまで足を延ばすと、その名も高いエステルハージイ家の宮殿がどこか忘れられたようにけれど華麗な姿で聳えています
(Kastélyszállás Nagycenk
9485 Nagycenk Sichenyi Kastély)

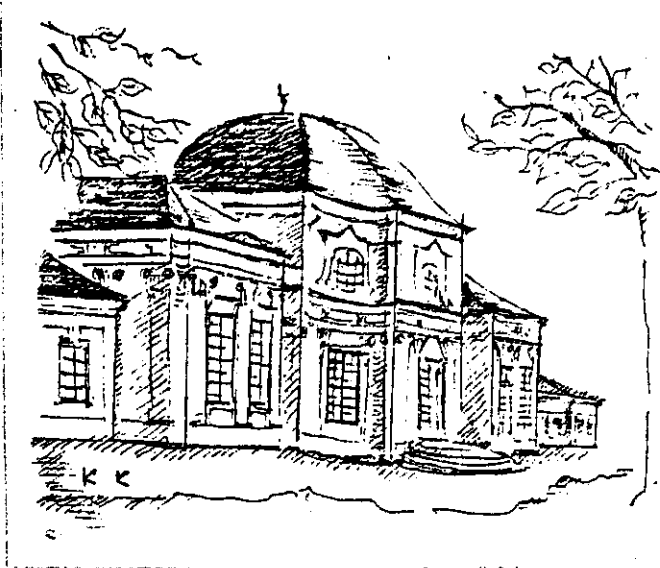
変わって、北ハンガリー、ブダペストから約90km、チェルハート山地帯のシラークにあるバロック調のお城です。これもまた有名な大貴族、テレキ家が1748年に建てた由緒あるもので、内部は近代的に整備されていて快適な休日を過せそうです。やはり馬場やテニスコートなどが揃い、小規模な会議やコンサートにも利用されています。

(Hotel Kastély Szirák

3044 Szirák Petöfi út 26)

バラトン湖の方へ目を向けてみますとM7の高速でセーケシュフェールパールを過ぎて10km程の所シレゲイェシュに、旧ハンガリー王国の財務官を務めていたジチ候が建てた白い華麗な館があります。当時のハンガリー王リオーストリア皇帝フェレンツ一世が狩猟用にと依頼して1821年に完成しました。クラシック調の建物で、一見の価値ある見事なシャンデリアやフレスコ画が昔のままに残されています。プール、サウナ、テニスコートなどの施設も整っています。

(Taurus Kastily Hotel
Zichy Hadik Kastily
8111 Seregllyes)



ドナウ河の一番大きな中洲であるチ
エペル島の南部ラーツケヴェにはバロ
ック調の宮殿としてハンガリーで最も
古いものが残っていて、ここもその一
部がホテルに改装されました。170
2年、ハンガリーをトルコの支配から

解放した将軍、サヴォヤイ侯が住んで
いたものです。設計は世界的に有名な
ウィーンのベルヴェデーレ宮殿を建て
たルーカス・フォン・ヒルデブランド
の手により、その手法がそここに息
づいています。

(Rickevei Alkotthaz
Savoyai Kastily

2300 Rickeve Kossuth L. u. 95)

ヨーロッパ史に名を馳せたハンガリ
アン・アリストクラシー。歴史のかけ
らに接しつつその頃をしのぶ。そん
な週末のひとつきを過すのも悪くな
いかも知れません。
(裕)

掲示板

生徒募集

個人・グループレッスン致します。

英語・英会話 ショーベニー千恵

ハンガリー語

252-2455

169-8536

252-2455

古城ホテルのご予約は当社で承ります。
クオニイ・トラベル・ブダベスト

131-5976

132-4116

日本担当 梅村欣世子あきよまで

情報コーナー

盗難にご注意

当国の犯罪件数の増加並びに短期およ
び長期滞在在留邦人の増加にともない、
邦人の盗難被害は、従来年に10件程度で
あったものが一昨年には17件、昨年は27
件と急増しています。犯罪の形態も以前
はほとんどスリと置き引きでしたが、最
近は悪質になっており、数人で取り囲ん
でのスリ・ひったくり・車の窓ガラスを
割っての盗みや、二重にカギをかけてい
たにもかかわらず空き巣に入られた例も
あります。また国際列車内でトイレに立
ったすきや寝ている間に盗難にあうケー
スが増えています。他の国に比べ特に治
安が悪いわけではありませんが、十分お
気をつけ下さい。
(大使館より)

お知らせ

大使館平成3年度休館予定日

1月1日(月)～3日(水)

年始

建国記念日

2月11日(月)

独立革命記念日

3月15日(金)

春分の日

21日(木)

イースター

4月1日(月)

みどりの日

29日(月)

勤労の日

5月1日(水)

憲法記念日

3日(金)

聖イシュト

8月20日(火)

ヴァーンの日

9月23日(月)

秋分の日

10月23日(水)

共和国宣言日

11月4日(月)

文化の日

12月23日(月)

天皇誕生日

25日(水)・26日(木)

クリスマス

29日(日)～31日(火)

年末

日本人会活動計画 (平成3年)

第1回映画会

2月17日

日本人会遠足

5月初旬

大運動会

7月初旬

日本人コンサート

6月

第2回映画会

もしくは9月

日本人総会・寿司大会

10月中旬

ドナウ通信発行

12月初旬

ドナウ通信発行

年4回

編集後記

ドナウ通信編集にあたり

①今年度、ドナウ通信は四季報とする。

②日本人会を便宜上次の5グループと判断し、それぞれに編集委員を任命し、

会員の人達との連絡、ドナウ通信の原稿集めなどの窓口となっていたことになりました。

とになりました。

A 大使館関係 本間一等書記官

B 商工会 草薙会長及び令夫人

C 長期在留邦人 山地先生

D 補習校 飯田先生

E 留学生 鹿江里美さん



以上の通りですが、ドナウ通信を通じて日本人会会員の交流の輪を広げて行きたく、皆様方の積極的ご参加をお願い致します。日本人会への情報・ご意見・そして随筆等も含めて楽しい会報になることを祈っております。

カットは影山京子さんにお願ひしました。

(発行責任者 江原 英治)